昭和 48 年 10 月 6 日 第三種郵便物承認（毎月 1 回 1 日発行）

11月1日発行 2023 11 第575号

沖縄県労働基準協会だより

主な内容

●令和5年度　沖縄県産業安全衛生大会開催
●第82回　全国産業安全衛生大会開催
●八重山支部通信（緑地公園クリーンアップ、合同事業所パトロール）
●令和5年度　免許試験　沖縄会場第2回目受験申請書の受付について
●沖縄労働局から
①「過重労働解消キャンペーン」を実施します!
②毎年11月は「過労死等防止啓発月間」です。
③過労死等防止対策推進シンポジウム（12月5日）
④11月は「しわ寄せ」防止キャンペーン月間です。
⑤令和5年労働災害・死亡災害発生状況（9月末現在、コロナり患分を除く）
⑥職場における新たな化学物質規制が導入されます
⑦職場における新たな化学物質管理に関する説明会（12月20日）
●講習会のご案内（令和5年12月分）

歩道の秋　タイワンフウ（台湾楓）

紅葉を見る機会が少ない沖縄でも、秋から冬にかけて、色づく木々があります。この木は寒い地方では更に美しく紅葉するようですが…この後冬になると落葉します。
（撮影地　那覇市漫湖公園歩道の並木道　撮影者・写真提供：与儀　栄太郎氏）

発行所／一般社団法人 沖縄県労働基準協会
〒900-0001　那覇市港町 2-5-23
電話：098-868-2826
FAX：098-869-1714
発行人／会長　島袋　清人
定　価／1部 50 円
（会員の購読料は会費の中に含む）
ホームページ　https://www.okinawa-roukikyo.org/

令和５年度 沖縄県産業安全衛生大会開催！

令和 5 年度沖縄県産業安全衛生大会が、10 月 13 日（金）那覇市のダブルツリー by ヒルトン那覇首里城において、沖縄県内の労働災害防止団体等（9 団体）による共催、沖縄労働局、沖縄県、那覇市及び中央労働災害防止協会の後援で開催され、302 名が参加しました。

大会全景

大会長挨拶をする島袋清人大会長

労働災害で亡くなられた方々等に黙祷を捧げた後、主催者を代表して島袋清人大会長（沖縄県労働基準協会会長）の大会長挨拶で開会しました。島袋大会長は、「人手不足、高年齢化、物価高騰等、経営環境等は厳しいものがありますが、いかなる状況下でも働く人の命と健康の確保は何よりも大切なものであり、また、安全衛生対策に取り組むことは事業者の経営や人材確保・育成の観点からもプラスとなります。各事業場におかれましては、社会情勢の変化等に対応し、安全で健康に安心して働くことが可能な職場の実現に向け、労使一体となって、安全衛生活動を一層促進されますようお願いします。」旨挨拶されました。引き続き、来賓の西川昌登沖縄労働局長から祝辞が述べられました。西川沖縄労働局長からは、「職場における安全と健康確保は、車の両輪です。作業を行う皆様が健康でなければ、事故発生のリスクが高くなります。また、働く皆様の安全と健康の確保は、人材確保が厳しい状況が続く中で、益々重要性を増し、安定的な事業運営にも不可欠なものです。本日の大会を通して、あらためて安全衛生意識の高揚を図り、自主的な安全衛生活動に取り組んでいただくよう重ねてお願い申し上げます。」旨ご挨拶をいただきました。

祝辞を述べる西川昌登沖縄労働局長

また、公務のためご来席できなかった玉城デニー沖縄県知事からの祝電も紹介されました。

厚生労働大臣表彰受賞者

その後、厚生労働大臣表彰、沖縄労働局長表彰及び沖縄県労働基準協会長賞の表彰式が行われ、受賞者に対し賞状が授与されました。

事例発表

第 2 部では、事例発表として、安全関係ではフジテック（株）沖縄支店の支店長原田篤氏より、労災を起こさないための施策、安全対策などの取り組んでいる活動事例の発表、健康経営では興南施設管理（株）の常務屋良一寿氏より、健康経営の取組み、スタートしたきっかけ、継続していくために実践していることなど具体的な取組みの発表がありました。

特別講演

特別講演では、（一社）日本刑事技術協会の上席コンサルタント森雅人氏による『サイバー担当元刑事が教える!!　「進化・凶悪・広域化する犯罪とその対策」～新たな犯罪への「備え」できていますか?～』と題して、進化・凶悪・広域化する新たな犯罪への対策について講演があり、参加者は防犯の知識を新たにしていました。

大会宣言は、陸上貨物運送事業労働災害防止協会沖縄県支部の潮平副支部長が読み上げ、「すべての働く方が安全で健康に、安心して働くことのできる職場の実現を目指す」ことの宣言が満場の拍手をもって採択されました。引き続き、指差唱和を沖縄県労働基準協会中部支部安全衛生部会の先導により、参加者全員でスローガンを読み上げました。

最後に、港湾貨物運送事業労働災害防止協会沖縄総支部儀武副総支部長の閉会挨拶をもって、成功裡に閉会しました。

参加者全員で指差唱和

令和5年度 安全衛生表彰受賞者

厚生労働大臣表彰

【功績賞】

古波津　昇	一般社団法人沖縄県労働基準協会　前会長
渡慶次　賀泰	株式会社沖縄ボイラエンジニアリング　代表取締役会長

沖縄労働局長賞

【功績賞】

與儀　盛輝	(一社)沖縄県労働基準協会　前副会長、那覇支部前支部長((株)オカノ　代表取締役社長)
安富　辰也	(一社)沖縄県労働基準協会　前副会長、北部支部前支部長(琉球セメント㈱屋部工場　顧問)
上里　明通	(一社)沖縄県労働基準協会　前副会長、宮古支部前支部長((有)吉田産業　取締役)

【安全衛生推進賞】

川平　勲	建設業労働災害防止協会　沖縄県支部　安全指導者((株)川平建設　代表取締役)
松田　司	建設業労働災害防止協会　沖縄県支部　安全指導者((株)丸石建設　執行役員建築課長)
池間　信一郎	(公社)建設荷役車両安全技術協会沖縄県支部　高所作業車運転技能講習講師、検査業者検査員資格取得研修講師(くろしお　代表者)

一般社団法人沖縄県労働基準協会長賞

【優良賞】

有限会社　みどり食品
有限会社　知念電気工事社
有限会社　山川酒造
株式会社　翔南建設
有限会社　昭電工業

【優良賞】

西尾　信彦	(株) オカノ	設備部　設備工事課　課長
新里　智久	(一社) 日本健康倶楽部沖縄支部	健康増進企画開発室　室長
嘉手納　一文	(株) カイコン	常務取締役
下地　利博	(株) 尚輪興建	総務部長
狩俣　治光	(株) 紫電舎	取締役専務

大会宣言

沖縄県内における令和4年の労働災害による休業4日以上の死傷者数は、新型コロナウイルス感染症を除いた場合でも、昭和47年以降で最多の1,322人となり、「沖縄労働局第13次労働災害防止計画」における目標であった死傷者数を1,130人以下とすることは達成できなかった。

さらに、今年においても死傷者数は、新型コロナウイルス感染症を除くと前年同時期に比較して増加しており、増加傾向に歯止めがかかっておらず、憂慮すべき状況である。

県内の職場における令和4年の定期健康診断結果の有所見率も前年比1.7ポイント増の72.1　%となり、全国平均値との格差も拡がり、12年連続で全国最下位となっている。

このような状況を踏まえ、本年度を初年度として新たに策定された「沖縄労働局第14次労働災害防止計画」の重点事項に取り組み、労働災害の増加傾向に歯止めをかけて、減少に転じさせ、労働者が安全で健康に働くことができる職場環境を築かなければならない。

労使一体となって、安全衛生管理活動の一層の促進を図り、すべての働く方が安全で健康に、安心して働くことのできる職場の実現を目指すことをここに宣言します。

令和5年10月13日

沖縄県産業安全衛生大会

第82回 全国産業安全衛生大会開催!

～名古屋での開催に沖縄県からもツアーで参加～

第 82 回全国産業安全衛生大会が、9 月 27 日(水)から 29 日(金)の期間、名古屋において「名古屋の地で　掲げよう安全・健康の旗印」を大会テーマに開催され、全国から約 11,500 人が参加しました。沖縄県労働基準協会では、ＪＴＢ沖縄の協力でツアーを企画し、51 名の会員事業場の方が参加しました。

初日の総合集会(会場：ポートメッセなごや)では、開会式の後安全衛生功労者の表彰も行われ、沖縄県からは古波津昇沖縄県労働基準協会前会長（拓南製鐵株式会社・拓南本社株式会社　代表取締役会長)が「緑十字賞」を受賞されました。その後、大会宣言が採択され、労働災害のない、安心して働ける職場環境を実現することは、全ての働く人、全ての国民の願いである。名古屋の地で開催される本大会において、労働災害による犠牲者をこれ以上出さないという決意を新たに、関係者が一丸となって取り組むことを誓いました。

総合集会

特別講演では、スポーツ庁長官の室伏広治氏が「スポーツで未来を創る～ライフパフォーマンスの向上のためにスポーツが果たす役割～」と題して、東京オリ・パラ競技大会は、「楽しさ」や「喜び」などスポーツのもつ様々な価値を改めて確認できた大会となったが、今後、このスポーツ・レガシーをいかに継承・発展させていくかについてのお話しがありました。また、室伏スポーツ庁長官が提唱する紙風船を潰さないように力を入れる等のエクササイズも参加者全員で行いました。

緑十字賞受賞の
古波津前会長

大会２日目と３日目は、分科会となり、各分科会「マネジメントシステム・リスクアセスメント」、「安全管理活動」、「機械・設備等の安全」、「ＤＸ等」、「労働劇」、「安全衛生教育」、「ゼロ災運動」、「労働衛生管理活動」、「化学物質管理活動」及び「メンタルヘルス・健康づくり・健康経営」において、全国の事業場からの研究発表をはじめ、最新の安全衛生の課題に対応した講演、パネルディスカッション等が開催され、大会参加者は自社の安全衛生活動の参考となる分科会に参加していました。

また、「緑十字展 2023 ～働く人の安心づくりフェア～」も同時開催され、210 社・団体が出展する安全衛生保護具・機器等の総合展示会となっており、参加者は最新の安全衛生保護具・機器等を見て説明を受けていました。

当協会企画のツアーは、総合集会に参加するため前泊となり、ツアー初日は中部国際空港セントレアに到着後、「ダイドーロボット館」で産業用ロボット実験施設を視察し、その後「徳川美術館」を閉館時間後の貸切ガイド付ツアーで国宝や重要文化財等の美術品を観覧しました。夜は、懇親会を開催し、会員間の交流や親睦を深めました。ツアー２日目は、トヨタグループの発祥である豊田紡績株式会社本社工場であった歴史的にも貴重な産業遺産である赤レンガ建物の「トヨタ産業技術記念館」を見学しました。近代日本の発展を支えた基幹産業のひとつである繊維機械と現代を開拓し続ける自動車の技術の変遷が紹介されており、「研究と創造の精神」と「モノづくり」の大切さを本物の機械の動態展示と多彩な実演を通じて感じてきました。昼食に名古屋名物のひつまぶしを味わった後、総合集会に参加しました。夕食は、オプションツアーとして

産業用ロボット実験施設視察

懇親会

徳川美術館観覧

トヨタ産業技術記念館見学

東洋一の大運河」と呼ばれた「中川運河」を航行する遊覧船で、「中川口通船門」でのパナマ運河プチ体験や名古屋港などの夜景を楽しみながら再度交流や親睦を深めました。

次回の第 83 回全国産業安全衛生大会は、令和 6 年 11 月 13 ～ 15 日の日程で広島県広島市での開催を予定しております。分科会は、自社の安全衛生活動の参考にもなりますので、多数の皆様のツアー御参加をお待ちしております。

ツアー参加者コメント

「分科会は、安全管理活動をメインに参加しましたが、アンケート作成における本音を引き出すテクニック、会社のリスク対策における優先順位などの特別報告や本音で語る講演はとても共感できました。安全文化醸成の方策は、先ず、自社における安全の要となる部署を理解すること。自社の現状を認識し、強みの中身は何か？現時点での不安は何か？を常に理解しておかなければならないことなど、今、自分自身が何をするべきかを考えさせられる大会になりました。また、今回、一緒できた方々と親睦が深まった事は、1 番の収穫でした。とにかく、楽しく有意義な大会で大満足でした。ありがとうございました。」

（株）オカノ　西尾信彦氏

八重山支部通信

「緑地公園クリーンアップ」

八重山支部では、9月２３日(土)に全国労働衛生週間に向けた取り組みとして八重山支部安全衛生部会員を中心に緑地公園クリーンアップを開催し、約３０人が参加しました。宮良八重山支部長の「家族連れでクリーンアップに取り組み、体を動かしながら健康の保持増進に取組んでほしい」との挨拶の後、参加者全員で公園内に捨てられたごみを拾い集めました。

合同事業所パトロール

八重山支部安全衛生部会は、１０月４日(水)に全国労働衛生週間の取り組みの一環として、八重山労働基準監督署と合同で市内事業場のパトロールを実施しました。

出発式では、宮良八重山支部長から「職場環境、健康状況など観察し、異業者のそれぞれのいいところを見つけて職場に持ち帰り安全衛生に生かしてほしい。」、また、渋谷八重山監督署長からは「県全体で2022年度までの3年間で酒製造業種では8人、産業廃棄物業種では29人が死傷災害に遭っている。過去には酒製造現場での酸欠や汚泥処理作業中の硫化水素中毒で死亡事故も発生しているので事故防止対策の徹底が必要である。」旨の挨拶がありました。合同パトロールは、(有)八重泉酒造と(株)西原環境おきなわに対して行い、職場の安全衛生管理体制、職員の健康管理体制、化学物質等の管理状況や作業環境等を点検しました。

令和5年度

免許試験（沖縄地区出張特別試験）沖縄会場第２回目 受験申請書の受付 について

1 沖縄会場第２回目

試験日　令和６年２月４日（日）
試験場　琉球大学　共通教育棟（西原町字千原１）

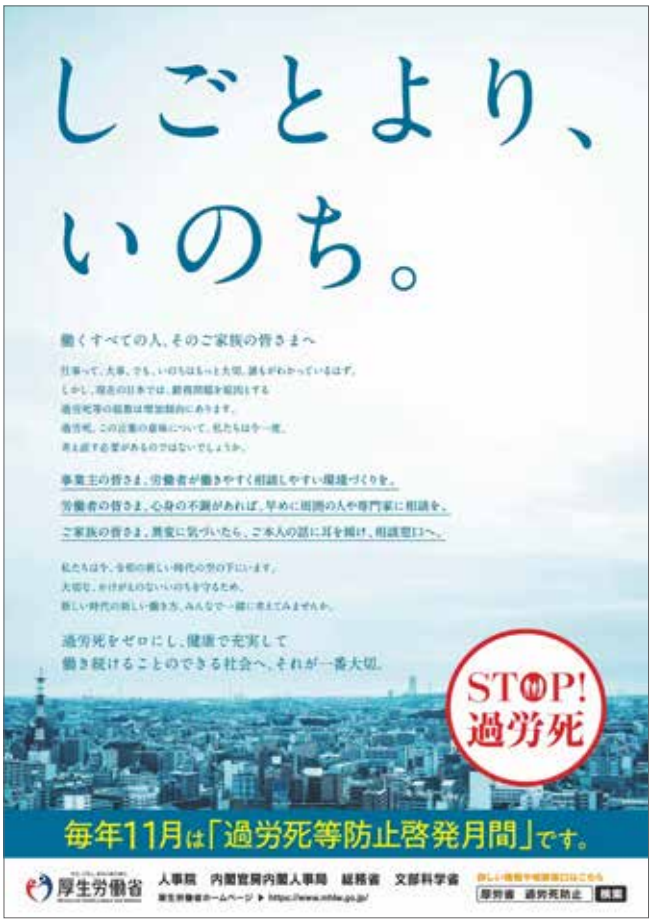
2 受験申請書の受付期間

令和5年11月20日(月)～12月1日(金)必着
受付時間　9:00～12:00、13:00～16:00　※土・日・祝日、除く

※①　学科試験手数料・・・8,800 円（事前に金融機関で払い込んでください）
②　受験申請書は、沖縄県労働基準協会各支部で配布しております。
※受験申請書は、変更されておりますので新しい受験申請書を使用して下さい。

主催　公益財団法人　安全衛生技術試験協会　九州安全衛生技術センター　協力　一般社団法人　沖縄県労働基準協会

この機会に一度
ご自身の労働時間を見つめ直してみましょう。
11月
「過労死等防止啓発月間」に
「過重労働解消キャンペーン」を実施します!
労働基準監督官が相談をお受けします。
無料
令和5年11月3日（金・祝）9時～17時
過重労働解消相談ダイヤル
0120-794-713
※全国どこからでも利用できます（スマートフォンからでも無料）※匿名でもOK
11月1日・2日・3日・6日・7日は、過重労働相談受付集中期間です
労働条件相談ほっとライン
0120-811-610
月～金 17:00～22:00
土日祝日 9:00～21:00
厚生労働省　都道府県労働局　労働基準監督署


しごとより、いのち。
働くすべての人、そのご家族の皆さまへ
STOP! 過労死
毎年11月は「過労死等防止啓発月間」です。
厚生労働省　人事院　内閣官房内閣人事局　総務省　文部科学省

厚生労働省
沖縄 会場
毎年11月は「過労死等防止啓発月間」です。
過労死等防止対策推進シンポジウム
過労死をゼロにし、健康で充実して働き続けることのできる社会へ
近年、働き過ぎやパワーハラスメント等の労働問題によって
多くの方の尊い命が失われ、また心身の健康が損なわれ深刻な社会問題となっています。
本シンポジウムでは有識者や過労死で亡くなられた方のご遺族等にもご登壇をいただき、
過労死等の現状や課題、防止対策について考えます。
日時 2023年12月5日(火)
15:00～17:00（受付14:30～）
参加無料
《事前申込》
会場 沖縄コンベンションセンター 会議場B1
（沖縄県宜野湾市真志喜4-3-1）
▼特設ホームページはこちら▼
過労死等防止対策推進シンポジウム 検索
二次元バーコードを読み込んで下さい。
主催：厚生労働省
後援：沖縄県
協力：過労死等防止対策推進全国センター、全国過労死を考える家族の会、過労死弁護団全国連絡会議

11月は
「しわ寄せ」防止キャンペーン月間です。
その無理な発注の「しわ寄せ」であなたの取引先が途方に暮れていませんか？
よろしく頼むよ!
STOP! しわ寄せ
…わかりました。
（もう無理だよ。）
概要版
大企業・親事業者による長時間労働の削減等の取組が、
下請等中小事業者に対する適正なコスト負担を伴わない短納期発注、
急な仕様変更などの「しわ寄せ」を生じさせている場合があります。
大企業等と下請等中小事業者は共存共栄!
適正なコスト負担を伴わない短納期発注や急な仕様変更などはやめましょう!
厚生労働省｜都道府県労働局｜労働基準監督署
中小企業庁
公正取引委員会
https://work-holiday.mhlw.go.jp/shiwayosesoushi/
しわ寄せ防止特設サイト 検索

令和5年業種別署別労働災害発生状況（9月末累計）
（新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除く）

沖縄労働局

業種＼年・署別・局計等	令和5年(9月末累計) 那覇	沖縄	名護	宮古	八重山	局計	令和4年(9月末累計) 那覇	沖縄	名護	宮古	八重山	局計	局計対令和4年比較 増減数(人)	増減率(%)
製造業	70	(1) 44	7	2	2	(1) 125	58	42	13	4	9	126	▽ 1	▽ 0.8
食料品製造業	40	22	7	1	1	71	38	24	8		5	75	▽ 4	▽ 5.3
鉱業						0						0	0	-
建設業	64	(3) 57	6	2	9	(3) 138	55	48	15	7	7	132	6	4.5
土木工事業	13	12	1	1	4	31	8	4	3	3	2	20	11	55.0
建築工事業	36	(2) 41	4	1	3	(2) 85	44	38	8	3	4	97	▽ 12	▽ 12.4
交通運輸事業	15	5				20	17	2			1	20	0	0.0
陸上貨物運送事業	34	10		(1) 3	4	(1) 51	34	10		1		45	6	13.3
港湾荷役業	2		1	1	1	5			2	2	2	6	▽ 1	▽ 16.7
林業	1		1	2		4							4	-
農業、畜産・水産業	5	2	2		4	13	7	2	7	1	1	18	▽ 5	▽ 27.8
第三次産業（運輸を除く）	298	194	42	33	32	599	(1) 238	175	23	22	25	(1) 483	116	24.0
商業	89	56	3	5	6	159	68	52	4	2	5	131	28	21.4
小売業	50	45	3	4	3	105	38	42	3	2	5	90	15	16.7
接客娯楽業	37	38	14	9	14	112	31	25	7	3	8	74	38	51.4
旅館・ホテル	14	13	8	4	6	45	10	10	4	2	5	31	14	45.2
飲食店	17	18	3	2	3	43	15	13	2	1	2	33	10	30.3
保健衛生業	74	52	11	4	5	146	69	48	5	7	8	137	9	6.6
社会福祉施設	47	37	9	3	5	101	45	32	5	5	8	95	6	6.3
ビルメンテナンス業	29	7	2	8	3	49	28	12	3	2		45	4	8.9
その他の業種	69	41	12	7	4	133	(1) 42	38	4	8	4	(1) 96	37	38.5
全産業	(0) 489	(4) 312	(0) 59	(1) 43	(0) 52	(5) 955	(1) 409	(0) 279	(0) 60	(0) 37	(0) 45	(1) 830	125	15.1

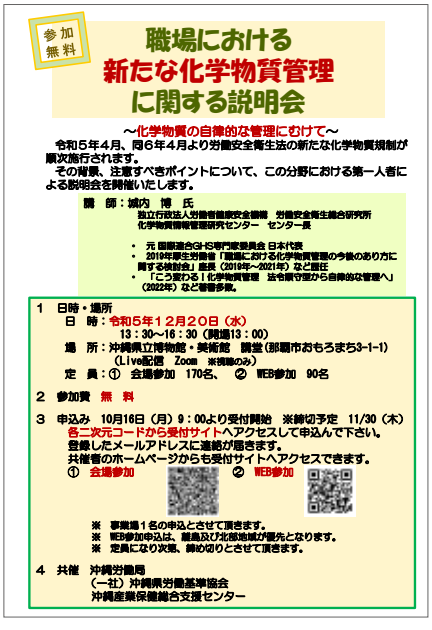
（注）1. 労働者死傷病報告により作成したものを。
2. 被災者数の枠の左側（ ）は死亡者数で内数。
3. 「▽」は減少を示す。
4. 交通運輸事業は、鉄道・軌道・水運・航空業、道路旅客運送業を示す。
5. 陸上貨物運送事業は、道路貨物運送業、その他の運輸交通業及び港湾荷役業を除く貨物取扱業を示す。
6. その他の業種は、金融広告業、映画・演劇業、通信業、教育研究、清掃・と畜（ﾋﾞﾙﾒﾝ除く）、官公署、その他の事業を示す。

令和5年死亡災害発生状況（9月末累計）

沖縄労働局

番号	所轄署	事故の型	起因物	業種別	発生時期	年齢	労働者数（規模別）	発生状況
1	沖縄	はさまれ・巻き込まれ	建築物、構築物	機械器具設置工事業	1月上旬	30歳台	1～9	機械式駐車場の設置工事において昇降モーターの駆動チェーンの調整作業を行っていたところ、駆動チェーンが歯車から外れパレットが落下し、歩廊にまたがって別作業をおこなっていた被災者が挟まれたもの。
2	沖縄	崩壊・倒壊	移動式クレーン	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	1月下旬	50歳台	1～9	移動式クレーン(トラック積載型クレーン)を使用してつり上げ作業を行っていたところ、移動式クレーンの旋回体の根元部分が破断したことによりジブが倒壊し、被災者を直撃したもの。
3	沖縄	激突され	解体用機械	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	2月中旬	20歳台	1～9	解体用ニプラを装着した車両系建設機械で、スリングを通した足場板をニプラに引っかけて吊り上げ、積載型トラッククレーンに荷卸しをしようとしていたところ、車両系建設機械が転倒し、機械とトラックとの間に被災者がはさまれたもの。
4	宮古	はさまれ・巻き込まれ	フォークリフト	一般港湾運送業	6月下旬	60歳台以上	30～49	フォークリフトを使用してトレーラーからコンテナの荷卸し作業を行っていたところ、フォークリフトの後方にいた労働者が、後進したフォークリフトに巻き込まれて被災したもの。
5	沖縄	崩壊・倒壊	石、砂、砂利	その他の土石製品製造業	6月下旬	40歳台	1～9	被災者が鉄製アングルに立てかけられた石板(重量約300kg/枚)を重機により持ち上げるため、吊り上げ用クランプを固定する作業の際、鉄製アングルが破損し、石板約35枚が被災者の上に倒れ、はさまれたもの。

※労働者死傷病報告による。統計情報は今後の調査により修正される場合があります。



講習会のご案内（令和5年12月分）

長年の実績と信頼、理解し易い講習に努めています

各講習の日程表など詳細については、当協会ホームページにも掲載しております。

二次元バーコードからもご確認頂けます。

項　目	講習名	実施日・実施会場	受講料等（テキスト代込み）
事業部（教習センター） (098) 979-7897 FAX 979-9975 那覇支部 (098) 868-2831 FAX 869-1714 中部支部 (098) 937-0162 FAX 937-0163	玉掛け技能講習	学 12/4(月)～5(火) うるマルシェ2階(うるま市前原) 実 A班12/6(水)、B班7(木)、C班8(金) 教習センター(うるま市州崎)	免除有　25,930円 免除無　27,930円
	石綿使用建築物等解体等業務特別教育	12/6(水) うるマルシェ2階(うるま市前原)	会　員　9,030円 非会員　12,330円
	アーク溶接特別教育	12/7(木)～10(日) 学 うるマルシェ2階(うるま市前原) 実 那覇工業高校 機械科溶接実習室 (浦添市勢理客)	会　員　15,910円 非会員　19,210円
	フォークリフト運転技能講習	12/11(月)～15(金) 学 うるマルシェ2階(うるま市前原) 実 教習センター(うるま市州崎)	46,650円
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	学 12/12(火)～13(水) 実 A班12/14(木)、B班15(金) うるマルシェ2階(うるま市前原)	17,010円
	フルハーネス型墜落制止用器具特別教育	12/18(月) 学 うるマルシェ2階(うるま市前原) 実 教習センター(うるま市州崎)	会　員　9,090円 非会員　12,390円
	ロープ高所作業に係る特別教育	12/19(火) 学 うるマルシェ2階(うるま市前原) 実 教習センター(うるま市州崎)	会　員　12,995円 非会員　16,295円
	職長教育・安全衛生責任者教育	10/20(水)～21(木) うるマルシェ2階(うるま市前原)	会　員　16,350円 職長のみ　14,080円 非会員　21,850円 職長のみ　19,580円
北部支部 (0980) 54-4700 FAX 52-7004	特定化学物質・四アルキル鉛等作業主任者技能講習	12/7(木)～8(金) 北部会館3階(名護市宇茂佐の森)	13,380円
	玉掛け技能講習	学 12/18(月)～19(火) 北部会館3階(名護市宇茂佐の森) 実 A班12/20(水)、B班21(木) ネオパークオキナワ駐車場(名護市名護)	免除有　25,930円 免除無　27,930円
宮古支部 (0980) 73-1455 FAX 73-6511	ガス溶接技能講習	12/9(土)～10(日) 学 宮古工業高校　自動車実習棟A 2F視聴覚室 実 宮古工業高校　自動車実習棟A 1F溶接実習室	12,280円
八重山支部 (0980) 88-5355 FAX 88-5360	小型移動式クレーン運転技能講習	12/12(火)～14(木) 学 ㈱紫電舎(2階会議室) 実 石垣港南ぬ浜町ふ頭用地	二科目免除　23,705円 一科目免除　25,705円 免除無　27,705円

各講習の日程表・受講申請書が必要な方・定員の確認は、各支部へお問い合わせください。

・受講予約者が定員に達している場合には、キャンセル待ちとなりますので、ご了承ください。

めんそ～れ 沖縄県労働基準協会へ

新規加入事業場のご紹介（9月16日～10月15日）

協会支部名	事業場名	所在地
那覇支部	拓吉工業	那覇市赤嶺 1-2-1-504
中部支部	株式会社勲組	うるま市字上江洲 102
宮古支部	大翔工業株式会社	宮古島市平良字下里 1470-12

※次の理事会にて承認予定

沖縄県労働基準協会だより

発行所／ 一般社団法人 沖縄県労働基準協会
〒900-0001 那覇市港町 2-5-23　TEL：098-868-2826　FAX：098-869-1714
発行人／ 会長　島袋　清人　定価／ 1 部 50 円（会員の購読料は会費の中に含む）